

# 一般入試前期A日程1日目

## 日本史

I (配点 36)

次の文を読み、(1)～(5)の問いに答えよ。

[解答番号  ～  ]

A 縄文時代晩期に九州北西部にあらわれた墓の一形態である  が朝鮮半島南部の影響を受けているなど、朝鮮半島と倭はかなり早い段階から交流を持っていた。また、ア)中国の正史『漢書』地理志には、紀元前1世紀頃の倭の様子が記されているなど、弥生時代には中国との交流も始まった。

4世紀初めには高句麗が朝鮮半島北部に勢力を広げる一方で、朝鮮半島南部では4世紀半ばに百濟、新羅がおこった。朝鮮半島最南端の  では依然として小国分立の状態が続き、加耶(加羅)とよばれたが、倭は鉄資源を確保するために加耶諸国と密接な関係を築いたと考えられている。

5～6世紀に高句麗・新羅の勢力が拡大するなか、512年にイ)大伴金村が百濟に加耶西部を割譲したことで、倭の朝鮮半島における勢力は大きく揺らいだ。こうした状況に危機感を覚えた倭は、朝鮮半島に出兵しようとしたが、これを阻止しようと、6世紀初めに新羅と結んだ  が反乱を起こした。その後、朝鮮半島では新羅がいっそう勢力を拡大させ、660年には唐と連合して百濟を滅ぼした。これに対し、倭は百濟再興のために援軍を派遣したが、唐・新羅連合軍に敗れた。

(1) 空欄  ～  に当てはまる適切な語句を、次の解答群1からそれぞれ1つ選べ。

### 解答群1

- |      |       |          |
|------|-------|----------|
| ① 熊襲 | ② 支石墓 | ③ 筑紫国造磐井 |
| ④ 馬韓 | ⑤ 弁韓  | ⑥ 方形周溝墓  |

(2) 下線部ア)に関連して、『漢書』地理志にみられる紀元前1世紀の倭に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① 夫れ楽浪海中に倭人有り。分れて百余国と為る。
- ② 建武中元二年、倭の奴国、貢を奉じて朝賀す。
- ③ 桓霊の間、倭国大いに乱れ、更相攻伐して歴年主なし。
- ④ 倭国乱れ、相攻伐して年を歴たり。

(3) 下線部イ)に関連して、大伴金村に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① 直系の大王家が断絶したため、欽明天皇を即位させた。
- ② 朝廷で権力を握っていた物部守屋を滅ぼした。
- ③ 対立するようになった崇峻天皇を暗殺させた。
- ④ 加耶西部の割譲を物部尾輿に糾弾されて失脚した。

B 6世紀末に中国を統一した隋が周辺地域に進出すると、東アジアでは緊張が高まった。こうしたなか、倭は朝鮮半島での政治的立場の回復や、隋の進んだ文物・制度の摂取などをはかるために、中国との国交を再開させた。『隋書』倭国伝によれば、607年に派遣された小野妹子が隋の皇帝煬帝に渡した国書は、ウ)倭の五王の時代とは異なり、服属しない形で外交関係を求めたため、皇帝の不興を買ったとされている。しかし、翌年には返礼使として  が倭に遣わされ、 が帰国する際には、小野妹子のほか留学生らが同行した。留学生のなかには、帰国後に改新政府で国博士をつとめた  などのような人物もいた。また、遣隋使などを通じた大陸との交流は、飛鳥時代の文化にも大きな影響を与えた。なお、遣隋使は  らが派遣された614年のものが最後となり、以後は隋にかわった唐に使節が派遣された。

(4) 空欄  ～  に当てはまる適切な語句を、次の解答群2からそれぞれ1つ選べ。

#### 解答群2

- |         |        |        |
|---------|--------|--------|
| ① 犬上御田歊 | ② 吉備真備 | ③ 五経博士 |
| ④ 高向玄理  | ⑤ 裴世清  | ⑥ 南淵請安 |

(5) 下線部ウ)に関連して、倭の五王に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

X 讚・珍・濟・興・武の倭の五王のうち、武は雄略天皇とされている。

Y 朝貢を行ったことにより、武は「親魏倭王」の称号と金印紫綬を中国から賜った。

- ① X - 正    Y - 正
- ② X - 正    Y - 誤
- ③ X - 誤    Y - 正
- ④ X - 誤    Y - 誤

Ⅱ (配点 36)

次の文を読み、(1)～(5)の問いに答えよ。

[解答番号  ～  ]

A ア) 相次ぐ戦乱や災害、飢饉などにより社会不安が増大すると、人々は信仰による救済を求めるようになった。こうした人々の要望に応じて鎌倉仏教が誕生した。 を開祖とするイ) 臨済宗が鎌倉幕府に保護されるなど新仏教が支持を集めたが、いわゆる旧仏教も朝廷や幕府の保護のもとで力を維持しており、旧仏教側でも僧侶が守るべき規範である戒律の復興をはじめとする改革が行われた。

武家政権が成立したことを受けて、鎌倉時代には貴族が担い手となっていた伝統文化に武士の力強い気風が融合した文化が生まれた。武士の合戦での活躍を題材にした軍記物語や絵巻物がつくられたほか、『金槐和歌集』を編んだ のように、貴族が嗜んできた和歌をつくる武士もあらわれた。一方で、順徳天皇の のような貴族社会の栄華を懐かしんだ有職故実書もつくられた。

(1) 空欄  ～  に当てはまる適切な語句を、次の解答群 1 からそれぞれ1つ選べ。

解答群 1

- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| ① 栄西  | ② 『禁秘抄』 | ③ 法然     |
| ④ 源実朝 | ⑤ 源頼家   | ⑥ 『梁塵秘抄』 |

(2) 下線部ア)に関連して、社会不安が増大するなかで俗世を捨てて<sup>いんとん</sup>隠遁した隠者らによる鎌倉時代の文学に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① 源信は『往生要集』を著して、念仏による極楽往生を説いた。
- ② 鴨長明は『徒然草』を著して、人生は無情であることなどを説いた。
- ③ 西行は諸国を旅して、歌集『山家集』を編んだ。
- ④ 兼好法師は無常観の立場から、『方丈記』を著した。

(3) 下線部イ)に関連して、鎌倉時代の臨済宗に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① 只管打坐が鎌倉幕府に支持され、臨済宗は幕府から保護された。
- ② 臨済宗を含む禅宗の僧の肖像画である頂相が盛んに描かれた。
- ③ 北条時頼に招かれた蘭溪道隆が円覚寺の開山となった。
- ④ 北条時宗に招かれた無学祖元が天龍寺の開山となった。

B 徳川家斉が **15** の一つである一橋家から11代将軍となった当初は、ウ老中松平定信による改革が行われた。1793年に家斉と定信の尊号一件での対立などもあり、定信は老中を辞職したが、定信の辞職後も定信と改革を推進した人々によって質素儉約な政治が行われた。しかし、水野忠成が老中に就任すると放漫財政へと転換された。貨幣の改鑄や十組問屋を菱垣廻船積問屋65組に改組して営業税の **16** を課すなどして財政が潤うと、将軍や大奥などの生活が華美になり、再び財政は窮乏した。放漫財政による経済の活発化を受け、 **17** の中小商工業者を担い手とする化政文化が開花したが、一方で農村では農民の階層分化が進み、百姓一揆が頻発するなど治安が著しく悪化した。

(4) 空欄 **15** ~ **17** に当てはまる適切な語句を、次の**解答群2**からそれぞれ1つ選べ。

**解答群2**

① 江戸	② 上方	③ 三卿
④ 三家	⑤ 町人足役	⑥ 冥加

(5) 下線部ウに関連して、松平定信を中心とした寛政の改革に関する記述として最も適切なものを、次の①~④の中から1つ選べ。 **18**

- ① 祖父の8代将軍徳川吉宗の享保の改革を理想として、寛政の改革を行った。
- ② 農村人口の確保のために人返しの法を出し、帰村者には資金援助を行った。
- ③ 寛政異学の禁を出して朱子学を正学とし、林鳳岡（信篤）を大学頭に任じた。
- ④ 出版統制令を出し、黄表紙『仕懸文庫』の作者である山東京伝らを弾圧した。

Ⅲ (配点 48)

次の文を読み、(1)～(8)の問いに答えよ。

[解答番号  ～  ]

A 1874年、明治六年の政変で下野した板垣退助・副島種臣らが結成した日本初の政党である  が左院に民撰議院設立の建白書を提出した。この建白書は、イギリス人のブラックが創刊した  に掲載され、自由民権運動の口火が切られた。当初、不平士族が民権運動の中心であったが、最後の士族反乱である  後は、地方の有力農民も加わって、全国で展開された。民権運動に対して、政府は弾圧法令などを出して取り締まった。その後、ア)明治十四年の政変の際に1890年に国会を開設することが約束されると、国会の開設に向けて政党の結成が相次いだ。一方、君主権の強い憲法を制定する方針を定めた政府は、伊藤博文らを憲法調査のためにヨーロッパに派遣した。ヨーロッパから帰国した伊藤は、憲法制定に先駆けて宮中制度の改革などを実施した。その後、伊藤を中心に憲法草案の作成が行われるとともに、山県有朋を中心に地方制度が確立された。この頃には、イ)激化事件への弾圧などを経て一時衰退していた民権運動も、国会開設が近づくなかで活発化した。起草された憲法法案は、1888年から天皇臨席のもとに枢密院で審議され、1889年2月11日に、ウ)大日本帝国憲法として発布された。

(1) 空欄  ～  に当てはまる適切な語句を、次の**解答群1**からそれぞれ1つ選べ。

**解答群1**

① 愛国公党	② 佐賀の乱	③ 『時事新報』
④ 西南戦争	⑤ 『日新真事誌』	⑥ 立志社

(2) 下線部ア)に関連して、明治十四年の政変に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

X 国会の開設をめぐる急進派の大隈重信と漸進派の伊藤博文の対立の激化が政変の背景にあった。

Y 不当に安い価格で開拓使官有物の払下げを行おうとしたことが問題視されたが、政変の際に払下げは断行された。

- ① X - 正    Y - 正                      ② X - 正    Y - 誤  
③ X - 誤    Y - 正                      ④ X - 誤    Y - 誤

(3) 下線部イ)に関連して、自由民権運動の激化事件に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 23

- ① 強硬な政治を行う福島県令への反発から福島事件が起こると、三島通庸ら多数の自由党員が検挙された。
- ② 福島・栃木県の自由党員が県令の暗殺を計画して失敗した後、政府転覆を計画して蜂起した加波山事件が鎮圧されると、自由党は解党した。
- ③ 松方正義のデフレ政策によって困窮した秩父地方の農民らが敬神党を組織して蜂起したが、政府に鎮圧された。
- ④ 朝鮮において、親日派の独立党による政権樹立を企図したが、朝鮮渡航前に計画が明らかになり、後藤象二郎・景山(福田)英子らが逮捕された。

(4) 下線部ウ)に関連して、大日本帝国憲法に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 24

- ① 大日本帝国憲法は、天皇によって制定された民定憲法であった。
- ② 大日本帝国憲法公布後、太政官制が廃止されて内閣制度が創設された。
- ③ 第1章では天皇主権のほか、皇位の継承、摂政の制などを定めた。
- ④ 主権者である天皇は、統治権の総覧者として広範な天皇大権を有していた。

B 1910年に起こった 25 後に取り締まりが強化されると、日本の労働運動や社会主義運動は「冬の時代」といわれる低迷期に入った。しかし、第一次世界大戦後には、大戦景気に伴う工業化の進展と労働者の増加などもあり、エ)労働争議や小作争議が増大するなど、労働運動が活発化した。また、ロシア革命の影響もあり、社会主義運動も活発化し、1922年にはオ)堺利彦らによって非合法のうちに日本共産党が結成された。

同じ頃、大正デモクラシーの風潮のなかで、普通選挙運動が活発に行われ、1925年にはカ)普通選挙法が成立した。このほかにもさまざまな差別からの解放を求める動きが活発化した。1911年に 26 らによって結成された女性文学者団体青鞞社が女性の解放を訴えた。その後も、女性の政治参加などを求める運動が展開された。また、 27 らを中心に1922年に全国水平社が結成され、被差別部落に対する差別の撤廃を訴えた。

(5) 空欄 25 ～ 27 に当てはまる適切な語句を、次の解答群2からそれぞれ1つ選べ。

#### 解答群2

- |        |          |        |
|--------|----------|--------|
| ① 市川房枝 | ② 米騒動    | ③ 西光万吉 |
| ④ 大逆事件 | ⑤ 平塚らいてう | ⑥ 吉野作造 |



**IV** (配点 30)

次の文を読み、(1)～(10)の問いに答えよ。

[解答番号 **31** ～ **40** ]

(1) 大森貝塚を発見したお雇い外国人として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

**31**

- ① クラーク                      ② フェノロサ                      ③ ベルツ                      ④ モース

(2) 藤原広嗣の乱に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **32**

X 藤原広嗣は長屋王政権で重用されていた玄昉らの排除を求めて挙兵した。

Y 藤原広嗣の乱後、聖武天皇は平城京を離れ、恭仁京・紫香楽宮などに都を移した。

- ① X - 正      Y - 正                                      ② X - 正      Y - 誤  
③ X - 誤      Y - 正                                      ④ X - 誤      Y - 誤

(3) 平氏の中央政界進出を実現させた平正盛が鎮圧した、出雲で起こった武士の反乱として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **33**

- ① 平忠常の乱                      ② 平将門の乱                      ③ 藤原純友の乱                      ④ 源義親の乱

(4) 北条泰時に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **34**

- ① 執権就任後、京都の警備や朝廷の監視にあたる六波羅探題を設置した。  
② 執権の補佐役である連署を置き、初代連署に北条時房を任命した。  
③ 北条氏一族の有力者から評定衆を選び、合議制を採用した。  
④ 従来からの公家法・本所法を廃して、御成敗式目（貞永式目）を定めた。

(5) 室町時代の農業に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

**35**

- ① 東日本でも二毛作が行われるようになり、畿内では三毛作も行われた。  
② 水稻の品種改良により、早稲や大唐米などの新たな品種が生まれた。  
③ 草木灰や油粕などの肥料が使用され、農業生産力が増加した。  
④ 踏車やなげつるべを利用して、田に灌水が行われるようになった。

